From Library

2022年 12月23日

1-4　佐藤みすず
山田涼輔

１年４組担任櫻井先生のお気に入りの本です。

「犬神家の一族」　　横溝正史　著

映画化もされた横溝正史を代表する作品です。映像も良いですが、原作もまた良いですよ。物語は犬神財閥の創始者で信州財界の大物･犬神佐兵衛が他界したところから始まります。ネタバレをするとつまらなくなるので詳しくは書きませんが、「佐兵衛よ、何だよ、その遺言‥‥ 。」と言いたくなります。また、佐清（すけきよ）というフレーズをどこかで耳にしていくかもしれません。覚えておくといろいろ使い勝手があるので便利です。先日、スタバで「ジンジャーブレッドクッキー」をトッピングしたのですが、店員さんがうっかり真っ逆さまに落下させてしまいました。思わず「すけきよかよ‥‥。」と心の中から突っ込むことで、何気ない日常に彩りを添えることができます。とにかく、紙の本で読むことをおすすめします。この昭和が漂う雰囲気、どうなるの？という気持ち、どれもざらざらとしたページを指でめくることでましましになります。できたら角川文庫の杉本一文の装画が良いですね。ま、本陣殺人事件から地道にせめていく、本陣殺人事件、悪魔が来たりて笛をふく、と、横溝作品をあんまり生徒にお勧めするんじゃないよと言われそうですが、ここの題が「おすすめ」ではなくて「お気に入り」だからまぁいいでしょうということでおしまい。

― 図書委員のオススメの本 ―

佐藤みすずのオススメ 「かがみの孤城」：辻村深月

私がオススメする本は「かがみの孤城」です。この本は主人公が鏡の中にある不思議な世界に行き、そこで“オオカミさま”と6人の子たちと出会い過ごすファンタジーな小説です。この本は最近映画化が決定し、今映画館で上映しています。共感できる事も多く面白いので是非読んでみてください。とてもリアルでその場にいる様な感じになる程入り込める作品です。

山田涼輔のオススメ 「また、同じ夢を見ていた」：住野よる

僕がおすすめする本は「また、同じ夢を見ていた」です。この物語は小学生の女の子が国語の授業で出された「幸せとは何か？」の答えを見つけるために3人の女性の元を訪ねるお話です。3人の女性は「また、同じ夢を見ていた」と同じセリフを言っていて、名乗っていないのに主人公の名前を知っていました。この3人の女性の正体とは？この本は「幸せとは何か？」「3人の女性の正体とは？」という２つの点について推理することを楽しんで読み進められるとても面白い本です。ぜひ、皆さんに読んで欲しい本ですが、特に自分にとっての幸せって何だろう、生きている意味が分からない、と思っている人には是非読んでもらいたいと思っています。この本を読めば、幸せや人生について考えるきっかけになり、気持ちが楽になると思うので、この本を読んでみてはどうでしょうか。

―　図書委員会の活動報告　―

12月7日に茨城県学校図書委員中央研修会を行いました。私達日立北高校は研修会の分科会で「しおり作り」を開催しました。参加した高校の方から好評も頂けてとても充実した委員会活動でした。また、他の高校の方が発表していた「読書感想文朗読」、「ビブリオバトル」などから多くの学びがあり、有意義な時間でした。

「ビブリオバトル」とは、各自が選んだ一冊の本を5分間プレゼンテーションして、3分間の質疑応答の後、紹介された本の中で一番読みたくなったチャンプ本を選ぶものです。図書委員中央研修会で人気の分科会で、決勝大会で優勝した人は、茨城県の代表として、全国大会に出場します。是非、皆さんも参加してみませんか？

また、これから季節のイベントに合わせて、オススメの本のコーナー展示を図書室でおこないます。どうぞお楽しみに！

今月は、図書室の一角にクリスマスをテーマにしたオススメ本のコーナー展示をしています！ミステリーから小説まで色々な本が取り揃えてあり、色んなクリスマスモチーフの飾りが飾り付けてあります。ぜひ、図書室に足を運んでくださいね。